

令和6年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立大森東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ICT機器を活用し、説明、指示を効率よく行うことができた。
- ・創作活動に対して意欲的で積極的な生徒が多い。
- ・安全に授業が受けられるように引き続き環境整備を徹底している。

(2) 課題

- ・限られた時間の中で発想を広げられるような導入や思考方法を習慣づける。
- ・進度の異なる生徒には声掛けを行い、見通しをもって活動できるようにする。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
道具の使い方や、制作の流れ、技法についてICT機器を活用した。制作中にも書画カメラや動画を用い、実際の手の動きや見本などをこまめに提示し、生徒の理解度や制作の進捗状況が向上した。	色彩の学習を通して、身の回りのポスターや、企業のロゴなど社会生活に役立っていることを学んだ。制作時の色の構成に役立てることができた。ICT機器を活用し、指示や目的を明確にし、見通しをもって制作に取り組むことができた。	美術とは何を学ぶ教科かという意味をしっかりと理解しようと、集中して活動できた。発言や発表する場面では、明るく活気のある雰囲気の中で、主体的に意欲をもって制作することができた。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵画の技法を正しく学習し、制作に活かすことができた。ICT機器を活用し、指示や目的を明確にすることで見通しをもって制作に取り組むことができた。	自分たちで選んだ音楽からイメージを膨らませ、平面構成を豊かに表現することができた。ICT機器を活用し、指示や目的を明確にすることで見通しをもって制作に取り組んだ。	チャイム着席や話を聞く態度、制作姿勢などの授業規律において、集中力不足の生徒への指導、支援が必要である。発言する場面では、明るい雰囲気の中で、主体的に発表することができた。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
計画的に取り組むことができた。練習を通して、どのように表現に結び付けるかを考えさせ、丁寧な描写や技法	墨という限られた画材の中で自由に表現することができた。筋目描きを理解した上でその特性を活かした表現	意欲的に活動することができた。課題に対して自分なりのこだわりをもって向き合うことができた。自ら進んで

を工夫して表現することができた。	につながった。	課題解決に向けて取り組めた。
------------------	---------	----------------

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
色彩の学習を通して、日常生活に密接に結びついた色彩の果たす役割を知り、創造的な表現ができるようにする。	発想シートを取り入れ、自己の分析や発想のきっかけを作り、美術に対する見方や感じ方を深められるようにする。	課題解決に向けて、試行錯誤し、納得のいく作品に仕上げることの大切さを意識させた。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
制作時間内に見通しをもって計画的に取り組めるよう、指導や手順を視覚化し、理解度を深めさせる。	制作における条件や決まりの中で、最大限の自己表現をしていくことの大切さを身に付けさせる。	自分なりの表現で、完成まで計画的に取り組ませる。一人ひとりの感性を大切にしながら、表現につながるように指導する。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
限られた制作時間の中で、目的をより明確化し、全体で課題解決できるよう取り組ませる。	発想が浮かばない生徒に対して、大型ディスプレイを活用し、参考資料の提示を増やして発想を促す。	自分の作品と他者の作品を鑑賞し、お互いに批評しあい、次の学びにつなげる。